

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)における

# 社会貢献活動と 環境対策のご紹介



# JFEスチールとは

JFEは、川崎製鉄と日本鋼管の経営統合により2002年に設立された会社です。  
JFEスチール(株)は、JFEグループの中核企業として、私たちの豊かなくらしを支える「鉄」をつくる会社で、千葉、川崎、倉敷、福山に製鉄所があります。

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)は、自動車、家電・電化製品、飲料缶等に使用される高級薄鋼板を製造する拠点です。  
敷地面積が765万㎡(東京ディズニーランド約10個分)あり、約9,000人の従業員が働いております。



# 千葉進出の経緯

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)は、1951年に開設された製鉄所です。

「戦後日本の進むべき道は、貿易立国として立つ以外にない」という、川崎製鉄初代社長西山彌太郎の強い信念のもと、戦後初の大規模臨海一貫製鉄所として建設されました。

建設予算としては、当時の千葉市の財政規模の約40倍という莫大なものでしたが、千葉県・千葉市や地元の皆様のご支持が強い支えとなり、京葉臨海コンビナート進出第1号企業として、県・市経済とともに発展してまいりました。

開所以来、60年間に生産した鉄鋼製品は、約2億2,000万トン(粗鋼生産量)になり、東京タワー約5万3,000本分に相当します。



川崎製鉄初代社長 西山彌太郎



第1高炉の火入れ 1953(昭和28)年6月17日

千葉みなと駅

東工場

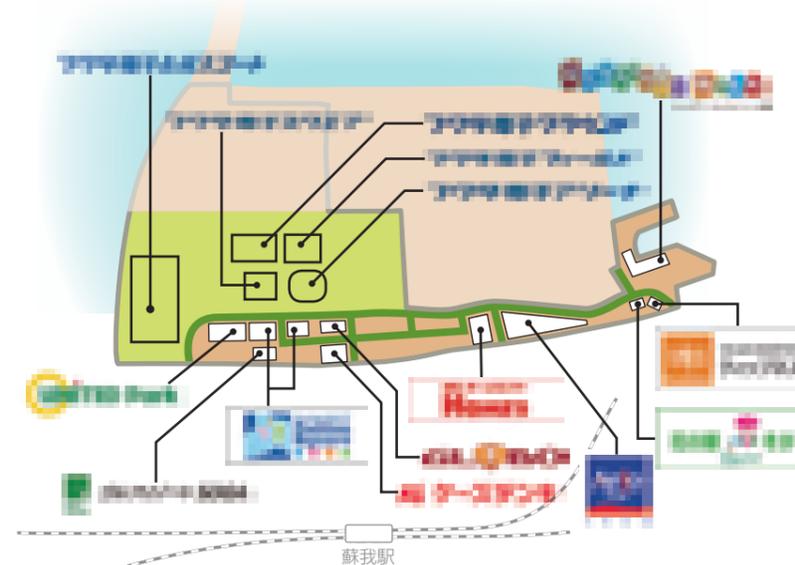
蘇我駅

# 蘇我再開発地区

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)では、主力工場を沖合の西工場に移設したことにより、市街地に近い東工場に遊休地が生まれました。

これを開発するため、国、県、市、地元をはじめとするさまざまな関係者と再開発計画の検討が進められ、2005年4月に大規模商業施設「ハーバースティ蘇我」の開業による街開きが行われました。

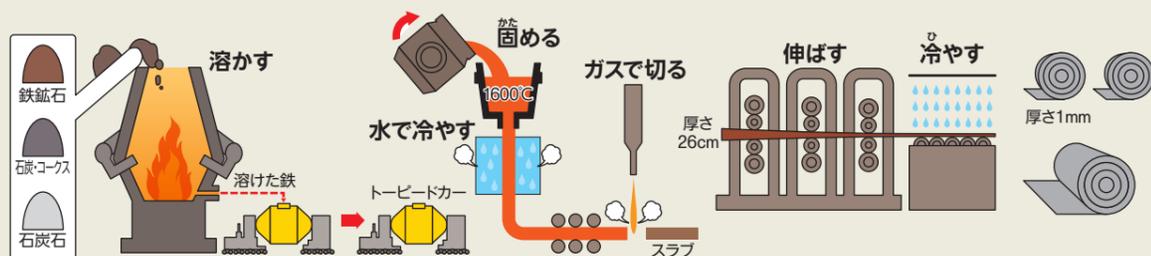
ジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアムでもある「千葉市蘇我球技場(フクダ電子アリーナ)」とともに、スポーツと商業の街として、年間2,000万人を越す来場者でにぎわい、3,000人を越える雇用が生まれております。



## 鉄ができるまで

製鉄所は、外国から輸入した鉄鉱石や石炭などを原料として、24時間365日休むことなく鉄をつくり出し、さまざまな鉄鋼製品を出荷しています。

- ①高炉でどろどろに溶かす
- ②転炉で成分を調整
- ③固めた鉄を薄い板に延ばす



# 社会貢献活動

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)では、鉄の製造プロセスや製鉄所の特徴、環境への取り組みなどを紹介し、理解を深めていただくため、さまざまな活動を通じて周辺地域の皆様とのコミュニケーションを図っております。

## 1

### 地元町内会行事への参加

地元町内会が主催する各種行事に参加し、日ごろより意見交換を図っております。  
(1年で約150前後の行事・会合等に参加)



寒川神社神輿渡御のお浜下り

## 2

### 当社主催のイベント実施

毎年10月の第4日曜日に「JFEちばまつり」を開催し、工場見学会や船上見学会などを催しており、約4万5,000人の地域の皆様にご来場いただき、楽しんでいただいております。

「JFEちばまつり」実施と併せ、6競技を対象としたスポーツ大会も実施しております。

また、毎年11月にはジェフと連携した小学5年生を対象としたサッカー大会や、2月には当社見学センターにて趙治勲囲碁大会を実施しております。

2016年4月には、約12年ぶりに「JFEさくらまつり」を復活、開催いたしました。

「JFEちばまつり」のみこし大会



JFEさくらまつり



## 3

### 工場見学会

地元の小・中学校の子どもたちを中心に、年間約3万2,000人の見学者を受け入れております。

近隣の婦人会、子供会などを対象とした見学会や親子見学会なども実施しております。



ジェフ千葉と連携した子供会の工場見学会



熱間庄延工場の見学



## 4

### 出前授業、放課後教室、職場体験受入

当社従業員が近隣の小学校を訪問し、毎年10校前後で出前授業を実施したり、近隣小学校の放課後こども教室の活動に参加しております。

また、近隣の中学校からは、職場体験学習を受け入れております。



小学校の出前授業



中学校の職場体験

## 5

### 出前清掃活動

地元町内会と連携して、地域公共施設や公道の出前清掃を2012年から隔月で実施しております。



出前清掃活動(菰池公園・宮崎小学校)

6

西千葉子ども企業塾への参加

千葉市、千葉大学との連携事業であるキャリア教育プログラムに参加しております。市内小学生を対象に、「JFE工場見学」を題材に、子どもたちにお仕事を依頼します。

2015年に「JFEのおみやげ作成」のお仕事を依頼したところ、2つのおみやげ「鉄鋼バウム」と「レンズクリーナー」を考案していただきました。



製鉄所のイラストが入った「レンズクリーナー」



鉄のコイルを模したバウムクーヘン「鉄鋼バウム」



地域の皆様の声を参考に千葉市産のお米を「鉄は産業の米」としておみやげ化

9

黄色い風車活動

ジェフ千葉のホームゲーム開催日に、JR蘇我駅からフクダ電子アリーナに至るまでの歩道沿い花壇に、黄色い風車を掲出する活動に参加しております。



歩道沿いの黄色い風車

10

地域開放型の保育所「うみかぜ南町保育園」の設立

JR蘇我駅至近の旧独身寮跡地に、定員50名の地域開放型の事業所内保育所「うみかぜ南町保育園」を2017年4月に開設します。この保育所は、新たな地域貢献の形として、2015年4月に施行された「子ども・子育て支援新制度」に基づいた地域型保育事業とするものであり、定員の一部を地域枠として地域の皆様にご利用いただけるよう開放します。「子ども・子育て支援新制度」に基づく地域開放型の事業所内保育所の設置は、JFEグループでは初の取り組みであり、京葉臨海コンビナート地域においても前例はございません。

「うみかぜ南町保育園」概要

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 事業主  | 株式会社サクセスアカデミー                      |
| 施設面積 | 延床430㎡                             |
| 定員   | 50名（従業員枠38名、地域枠12名）                |
| 開園   | 2017年4月                            |
| 保育時間 | 7時～20時                             |
| 休園日  | 原則日曜日<br>国民の祝日に関する法律に規定する休日および年末年始 |



7

「お散歩マップ」の配布

地元の皆様と千葉大学の学生に参加いただき、地域の魅力を再発見できる「お散歩マップ」を作成し、JR蘇我駅、市役所、モノレール（市役所前、千葉みなと）などで無料配布しております。



千葉市役所に置かれているお散歩マップ

8

地元行事復活への協力

地元自治会の皆様と連携し、石を持ち上げる「さし石」行事を2016年3月に復活、開催いたしました。



神明神社のさし石



# 粉じん飛散防止対策

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)では、市街地に近接した場所に立地する都市型製鉄所として、さまざまな粉じん飛散防止対策を講じております。  
発じんの原因となる製造工程ならびに輸送設備の改善・補修や、集塵機の増設や能力の増強、防風フェンスや緑化マウンドの築造、原料ヤードの散水および構内の清掃や道路散水などの対策を、継続して実施しております。

## 道路の舗装強化と自動散水装置の設置の推進

ヤード内の主要道路を舗装し、自動散水装置の設置や車両足洗い場の設置を推進しております。



車両足洗い場



自動散水装置

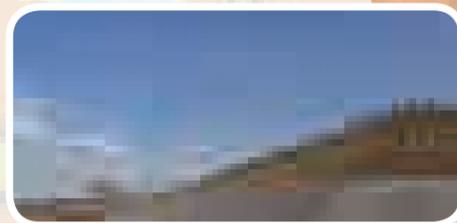
生浜地区

## フェンス・緑化マウンドの設置

製鉄所の外に粉じんが飛散する直前で抑えるため、フェンスや緑化マウンドを設置しています。



東工場の緑化マウンド



西工場の緑化マウンド



防塵フェンス

## 原料ヤードの対策

強風時に原料ヤードから粉じんが飛散しないよう、自動散水をしています。



原料ヤードの散水状況

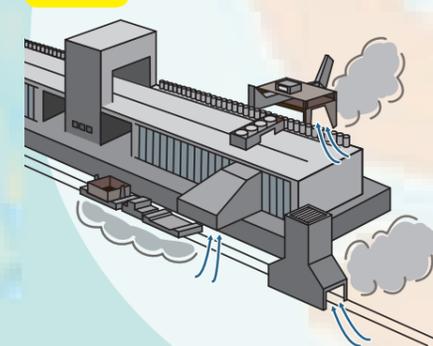


## コークス炉周辺の対策

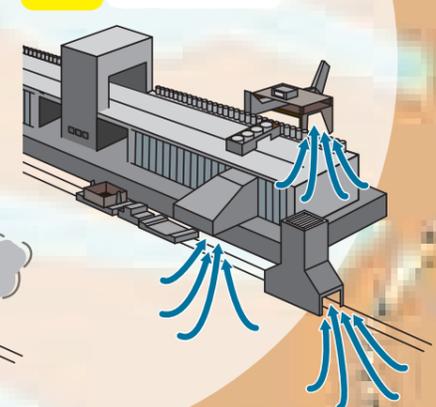
コークス炉(\*)から粉じんが飛散しないよう、炉のまわりの集塵機能を強化しています。

(\*)石炭を蒸し焼きにしたコークスを製造するための炉

Before



After 集塵機能強化後



緑化マウンド

西工場

原料ヤード

6,7コークス炉

緑化マウンド

東工場

5コークス炉

防塵フェンス

国道357線

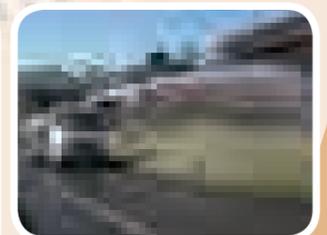
蘇我駅

## 道路散水の強化

構内に落ちた粉じんが飛散しないよう、製鉄所内の道路に散水しています。



道路散水



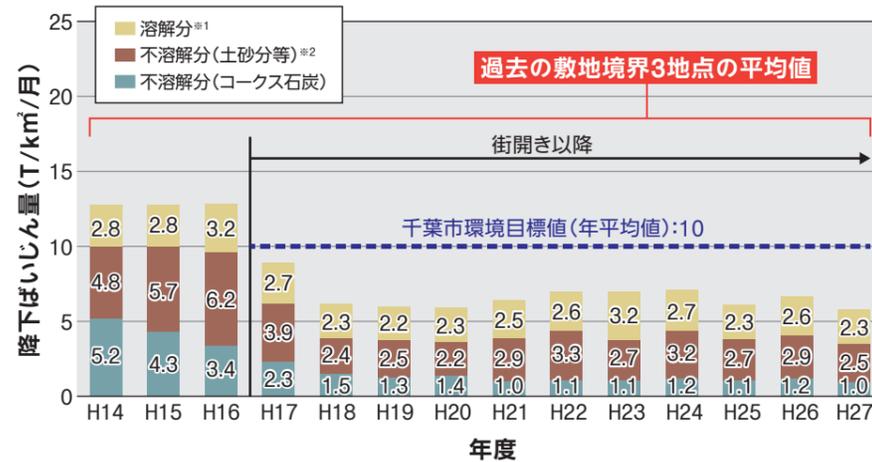
設備への散水

## 降下煤塵量の推移

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)では、2002年より製鉄所付近の3地点で降下煤塵量を測定し、測定結果をホームページにて公開しております。

当社ホームページ:<http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/chiba/taiki.html>

図中で示す降下煤塵量の測定値には、幹線道路由来のものや、土地の造成工事で発生する土砂成分、海域から飛来する塩分も含まれておりますが、商業地区やスポーツ公園地区が街開きした以降の降下煤塵量は、千葉市が設定している環境目標値を毎年下回っております。



### リアルタイムな情報を見学センターで公開

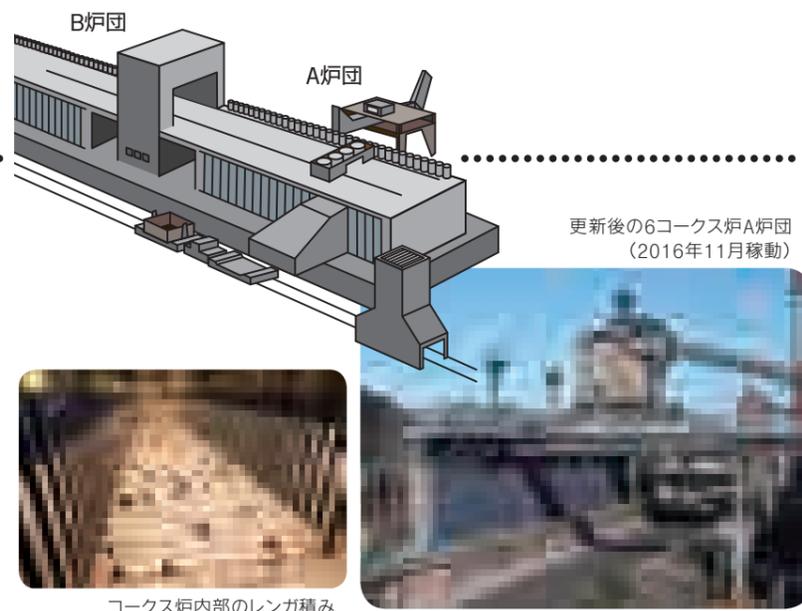
JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)では、環境管理体制の一環として環境異常抑止システムを構築し、大気環境測定結果(NOx、SOx)や排水水質測定結果(COD、N、P、排水量)などの環境情報を、見学センターにてリアルタイムで公開しております。

JFEグループは、地球環境の向上を経営の重要課題と位置付け、環境と調和した事業活動を推進することにより、豊かな社会づくりを目指します。



## 大型投資の推進

これまでにご説明した活動に加え、環境改善に資する規模の大きい設備投資も実施しており、2014年に6コークスA炉団の老朽更新を開始し2016年11月に再稼働しました。引き続き、B炉団の老朽更新にも着手しております。



コークス炉内部のレンガ積み

更新後の6コークス炉A炉団  
(2016年11月稼働)

## 粉じん飛散防止対策委員会の設置

JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)では、2014年度から、社内に粉じん飛散防止対策委員会を設け、①「重点対策の決定」を迅速・効率的に実施、②「実施状況の進捗確認」による確実な計画遂行、③「粉じん監査パトロール」による監査、を実施しております。

## 健康への影響

千葉市臨海部の粉塵について千葉市で調査(2012~2014年)が行われ、千葉市のホームページで、「今回の調査からは、中央区臨海部の粉じんについて健康影響が懸念される結果は認められませんでした」と説明されております。

千葉市ホームページ:

[http://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/kankyokisei/air\\_rinkaibu\\_baizin.html](http://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/kankyokisei/air_rinkaibu_baizin.html)

— 以下、千葉市ホームページより抜粋

### Q1. 粉じんの発生源は何ですか?

一般に粉じんは、風による土壌の巻き上げなど自然的なもの、物の破碎や排ガスなど人為的なもの、大気中で化学反応して生ずるもの、さらには越境移動してきたものなど様々な原因が考えられます。

中央区臨海部で観測される粉じんも、臨海部の事業所や幹線道路、土地の造成など様々な発生源による面的、複合的な原因によるものと考えられます。

### Q2. 粉じんの成分は?

粉じんの成分を知ること、発生場所の推定や人の健康影響を検討することができます。そのため千葉市では、中央区臨海部で、電子顕微鏡による粉じん観察や、吸引捕集した粉じん、および降下ばいじんについて成分分析を行いました。

その結果、電子顕微鏡による観察では、ケイ素やアルミニウムを主成分とする粉じんが約半分を占めてることを確認しました。また、金属元素や炭素成分を分析したところ、主な成分として鉄や、元素状炭素、有機炭素、カルシウム、アルミニウムなどを確認しています。

### Q3. 粉じんが多い地域で健康被害が心配なのですが

現在、千葉市内の大気環境について、環境基準の超過が確認されているのは、光化学オキシダントとPM2.5だけです。これは、全国的に同様の状況です。

一方、千葉市内で粉じん量のばらつきが確認されているのは、比較的大きな粒子の降下ばいじんでした。

粒子が小さく健康への影響が懸念されている微小粒子状物質(PM2.5)や、浮遊粒子状物質(SPM)の濃度は、市内の他の地域と比べ大きな差はありませんでした。

今回行った中央区臨海部の粉じんの調査からは、健康影響が懸念される結果は認められませんでした。

---

# 環境関連技術の高度化と幅広い展開による、さらなる環境改善に期待します

千葉市地球温暖化対策地域協議会 会長  
榛澤芳雄氏（日本大学名誉教授）

---

JFEスチールの一部の工場跡地にスポーツ公園や商業施設が立ち並び、最近10年間で蘇我地区の街並みは大きく様変わりしました。

これまで、当リーフレットにあるように、JFEスチールがCSR活動や環境保全対策に真摯に取り組んできたことは評価できます。また、ここには書かれておりませんが、JFEスチールは低炭素社会実行計画にも積極的に取り組んでおり、企業理念である「地球環境の向上を経営の重要課題と位置づけ、環境と調和した事業活動を推進することにより、豊かな社会づくりを目指します」をしっかりと実践していることが見受けられます。

ここで環境投資は単純に資本を投入するだけではなく、高い技術力を伴うことが必要です。世界鉄鋼業の中で、JFEスチールをはじめとする日本鉄鋼業のエネルギー効率の良さと環境保全技術の質の高さは群を抜いております。

日本鉄鋼業では、この技術力を基盤として3つの「エコ」すなわち、生産工程における「エコプロセス」、軽くて強い鋼材の供給を通じた「エコプロダクト」、高度な環境関連技術を海外へ普及させることによる世界規模での「エコソリューション」によって環境改善を推進することを表明しておりますが、この活動を積極展開し確実に結果を出すことにより、私どもの「豊かな社会づくり」がまさに実現するものと考えております。

私どもは、JFEスチールが、今後も、環境関連技術の高度化を追求し、それを幅広く展開することにより、省エネルギー・CO2削減などの世界規模での環境改善を推進するとともに、千葉県・千葉市のますますの発展に寄与すること、そして製鉄所周辺地区における環境改善に、引き続きしっかりと取り組んでいかれることを、より一層期待しております。

---



## 【お問い合わせ先】

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(千葉地区)総務部 総務室  
〒260-0835 千葉市中央区川崎町1番地  
TEL:043-262-2026 / FAX:043-262-2967  
受付時間:平日 8:30~17:00

2017年3月発行

